



「第5回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議」の報告

平成30年2月21日、豊島区役所において、第5回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議が開催されました。高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員15名が参加しました。



高野区長 挨拶

今日は第5回検討会議です。皆様の力で、この計画は、一步一步着実に進んでいます。里中座長をはじめ、委員皆様のご熱心が、豊島区中に伝わっているのではないかと思います。

つい先日、「としまマンガ・アニメフェスタ」を初開催し、2日間で800人を超える人々にお越しいただきました。としま南長崎トキワ荘協働プロジェクトやマンガジャパンの皆さんをはじめ、多くの方々にご協力いただき、トキワ荘の玄関の再現展示、マンガジャパンによる似顔絵、紫雲荘によるマンガ体験教室、紫雲荘の室内VR映像体験、山田先生やその他のの方々による講演会「トキワ荘を語る」等が行われました。私の実感としては、一歩も二歩も前に進んだように感じております。

会場では、「トキワ荘を再現します」というチラシを配布し、トキワ荘再現施設整備寄附へのお願いをしました。趣意書の裏に、ご賛同いただいた180人の方々の名前を掲載しています。このような形でまちの方々を盛り上げていく、そういうスタイルを取るのが、豊島区方式。偉い人の名前ではなく、一人ひとりが手作りで作り上げ、皆が熱い思いを持って、全国に全世界に広めていく。時間のある限り、2次、第3次募集を行い、輪を広げていきたいと思っているので、皆さんも、また、お知り合いの方々にも趣旨に賛同いただいて、発起人になっていただければと思います。目標は1,000人です。こうした方が、トキワ荘の大きな応援団になっていただけると期待しています。

豊島区は今、大きく変わろうとしています。来年には東アジア文化都市の開催、そして2020年には、オリンピック、パラリンピックが開催されます。それらに向け、まちづくりの仕掛けを着々と進めています。池袋を水戸岡鋭治先生のデザインによる赤いEVバスが走ります。土日祝日はトキワ荘まで走らせる計画も立っています。池袋から南長崎花咲公園へ、あるいは巣鴨・大塚へというように、まち全体が盛り上がっていくのではないかと期待しています。

議事

(1) 公園改修計画

事務局より、公園改修計画の素案を説明した。

- ・トキワ荘通りから本施設を認識してもらえるようにする、また、来館者が地元住民の公園での活動を妨げない、ということを前提条件とし、これに対応するため、トキワ荘通りに本施設の名称や利用案内を掲載した視認性の高いサインを設置し、公園西端に来館者用歩道を設置したプランを検討。
- ・来館者動線に沿って、「トキワ荘のヒーローたち」のモニュメントの移設、マンガ家の手形の展示等を行う。また、便所の改築に伴い、外観もトキワ荘再現施設になじむデザインとする。

主な意見

- ・「トキワ荘のヒーローたち」のモニュメントについては、トキワ荘通りから見て目立つ場所にあるので、移設しない方がよい。また、町会の祭礼の神酒所にあたる場所は確保してほしいので、通路を設置しないでほしい。
- ・来館者用の動線を確保しても、そこを通らずに、公園を横切る最短ルートを選ぶ人が多いのではないかと。
- ・来館者用動線に沿って展示を行い、その内容を更新して常に新しいものに変えていけば、動線を歩いてくれるのではないかと。
- ・トイレも、マンガを活かし来館者が楽しめるデザインとする。

(2) 設計の変更点

事務局より、前回の検討会議以降の変更箇所を報告した。

- ・1階の空調設備の設置スペースを、受付カウンター脇に設けた。
- ・回遊情報コーナーのデザイン案を提示。マンガの世界を感じるような近未来感のあるデザインとし、北側壁面は書架と映像・コンテンツを提供するモニタを設置する。南側壁面はマンガ家の方々より提供していただいたサイン等を展示する。
- ・再現展示を行わない2階の6室の展示案を提示。映像やデジタルコンテンツを活かした展示、体験型プログラム等を提供する。

主な意見

[回遊情報コーナー]

- ・配置できる本の冊数が少ない。もう少し増やすべき。
- ・企画展と関連したマンガや資料を閲覧できるとよい。
- ・タブレットによるマンガの閲覧も検討すべき。
- ・ベンチ等についても、デザインを検討すべき。

(3) 管理運営計画

事務局より、管理運営計画について、入館料、休館日・開館時間、トキワ荘通りお休み処の活用、人員配置、事業活動等に関わる、これまでの検討内容の概要を報告した。